

プログラム 1 日目 (2025年3月22日)

第1会場 (グリーンホール)

開会式挨拶

12:20~12:30

第13回日本がんリハビリテーション研究会大会長

国立病院機構四国がんセンター骨軟部腫瘍整形外科・リハビリテーション科

杉原 進介

第13回日本がんリハビリテーション研究会顧問

医療法人財団慈強会松山リハビリテーション病院院長

木戸 保秀

大会長講演

12:30~13:00

座長：篠田 裕介

埼玉医科大学病院リハビリテーション科

PL がん専門病院から考えるがんのリハビリテーションの課題と展望

国立病院機構四国がんセンター骨軟部腫瘍整形外科・リハビリテーション科

杉原 進介

基調講演

13:00~14:00

座長：川井 章

国立がん研究センター中央病院骨軟部腫瘍・リハビリテーション科

DL がんのリハビリテーション医療の進化と展望

～日本がんリハビリテーション研究会設立からの軌跡と今後の方向性～

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室

辻 哲也

日韓合同シンポジウム*

14:10~15:40

テーマ：Recent Advances in Cancer Rehabilitation

*共催：令和6年度（2024年度）厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）がんのリハビリテーション、およびリンパ浮腫診療の一層の推進に資する研究

*Co-sponsored by: 2024 Ministry of Health, Labour and Welfare Scientific Research Grant (Comprehensive Cancer Control Research Project) - Research Contributing to Further Advancement of Cancer Rehabilitation and Lymphedema Treatment

Moderators:

Jae-Young Lim Professor, Rehabilitation Medicine, Seoul National University Bundang Hospital

Hitoshi Kagaya Deputy Director, National Center for Geriatrics and Gerontology (NCGG)

Reactor panelists:

Jae Yong Jeon Professor, Department of Rehabilitation Medicine, Asan Medical Center

Heeyoung Jung Professor, Department of Rehabilitation Medicine, National Traffic Injury Rehabilitation Hospital

CS-1 Digital health care in patients with breast cancer

Jongin Lee

Professor, Rehabilitation Medicine, St Mary Hospital, Catholic University

CS-2 Enhancing diagnostic precision and treatment effectiveness using ICG lymphography

Jin A Yoon

Associate Professor, Rehabilitation Medicine, Pusan National University

CS-3 Rehabilitation for locomotive syndrome in cancer patients

Yusuke Shinoda

Professor, Rehabilitation Medicine, Saitama Medical University Hospital

CS-4 Neo-prehabilitation: A novel prehabilitation strategy during neoadjuvant therapy in locally advanced esophageal cancer

Tsuyoshi Harada

Department of Rehabilitation Medicine, National Cancer Center Hospital East

第1会場 (グリーンホール)

教育講演 1

15:50～16:50

座長：田沼 明 順天堂大学医学部附属静岡病院 リハビリテーション科

EL-1 造血器腫瘍治療において早期社会復帰を実現させる運動療法
愛媛県立中央病院血液内科 名和 由一郎

教育講演 2

17:00～18:00

座長：尾崎 敏文 岡山大学学術研究院医歯薬学領域生体機能再生・再建学講座 (整形外科)

EL-2 がん患者のBone Health
香川県立中央病院リハビリテーション科 本田 透

第2会場 (共通講義棟A1階共A11)

一般演題1 消化器がん①

12:40～13:40

座長：柿下 大一 国立病院機構四国がんセンター消化器外科

- 01-1 大腰筋容積指数への食道がん周術期のガム咀嚼トレーニングの効果
岡山大学病院歯科・予防歯科部門 山中 玲子
- 01-2 周術期胃癌患者における術前の大腰筋指数と身体機能の関係性について
社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーションセンター 加藤 尚也
- 01-3 食道癌患者に対する術前化学療法期間のプレハビリテーションの実施内容：全国実態調査
田上病院リハビリテーション科 遠山 柁介
- 01-4 海外在住者の食道癌手術の周術期リハビリにおける課題
国立がん研究センター中央病院リハビリ室 松岡 藍子
- 01-5 胸部食道癌手術におけるESSENSEの概念による周術期早期回復プログラムと周術期リハビリテーション
埼玉医大国際医療センター消化器外科 佐藤 弘
- 01-6 サルコペニア合併食道癌患者に対し自宅退院後の運動療法及び栄養療法を実施し術後のサルコペニア進行が予防できた症例
埼玉医科大学国際医療センターリハビリテーション部 高木 敏之
- 01-7 食道腺癌術後に軟部転移を認めリハビリテーションに難渋した2例
国立病院機構四国がんセンターリハビリテーション科 佐々木 里恵

一般演題2 消化器がん②

13:40～14:25

座長：近藤 心 徳島大学リハビリテーション部

- 02-1 切除不能進行・再発胃癌患者における化学療法後の早期骨格筋量変化に関連する因子の検討
国立がん研究センター東病院リハビリテーション科 中嶋 康記
- 02-2 大腸がん術後化学療法後に不顕性誤嚥を呈した症例に関する一考察
医療法人社団新国内科医院 澤 美菜子
- 02-3 プレフレイル、フレイルが大腸がん術後経過に与える影響
～改訂日本版CHS基準を用いた検討～
函館五稜郭病院リハビリテーション科 槌賀 信基
- 02-4 根治的大腸切除術を実施した大腸癌患者における周術期膝伸展筋力低下は退院後1年以内の緊急入院の予測因子である：後方視的観察研究
星城大学リハビリテーション学部理学療法学専攻 柳澤 卓也
- 02-5 上行結腸癌術後にADLが低下したが治療を継続しつつ自宅退院に至った症例
～財団内施設連携による途切れのないリハビリの提供に着目して～
河北医療財団河北総合病院リハビリテーション科 小松 桂子

第2会場 (共通講義棟A1階共A11)

一般演題3 消化器がん③

14:25～15:20

座長：川道 幸司 国立病院機構四国がんセンターリハビリテーション科

- 03-1 腹部外科術後患者の端座位開始時期が入院期間や術後合併症に及ぼす影響
鹿児島大学保健学研究科 永田 明日翔
- 03-2 75歳以上消化器がん患者の術前におけるサルコペニアの調査
愛知県がんセンターリハビリテーション部 山崎 康司
- 03-3 消化器癌患者における術前の身体機能と病棟内早期歩行自立との関連の検討
埼玉石心会病院リハビリテーション科 安藤 淳一
- 03-4 消化器癌患者の術後のMDASI-Jのスコアの違いが転帰に与える影響
藤田医科大学岡崎医療センター 大西 斉
- 03-5 周術期消化器がんにおける365日リハビリテーション診療の有効性
滋賀県立総合病院リハビリテーション科 中江 基満
- 03-6 肝細胞がん術後に呼吸状態が悪化し、多職種連携によりADL改善を認めた症例
～人工呼吸器管理下での離床～
昭和大学藤が丘病院リハビリテーション室 加藤 洋志

一般演題4 終末期、悪液質

15:20～16:20

座長：菊池 伸司 松山ベテル病院リハビリテーション課

- 04-1 終末期がん患者の嚥下能力とADLおよび食事姿勢の関係
医療法人朝日野会朝日野総合病院総合リハビリテーションセンター 山本 貴大
- 04-2 がんリハビリテーションが信頼関係構築の要因となり在宅療養を可能にした一症例
JCHO宇和島病院看護部 大野 裕美
- 04-3 在宅復帰を目指した乳がん終末期患者の真意を探る理学療法士の葛藤
医療法人社団石鎚会京都田辺中央病院リハビリテーション部 井上 春菜
- 04-4 完全側臥位法により経口摂取を継続した重度嚥下障害を呈する緩和ケア患者1例
村上華林堂病院リハビリテーション科 齋藤 正直
- 04-5 生命予後を意識した取り組みの上で在宅復帰を果たした左上葉肺腺がんの一症例
松山リハビリテーション病院リハビリテーション科 村上 博則
- 04-6 大腿骨病的骨折を伴う終末期胸部SMARCA4欠損未分化腫瘍患者に病態に合わせた理学療法を実施したことで希望であったトイレ動作自立にて自宅退院が可能となった症例
湘南鎌倉総合病院リハビリテーション部 藤井 友里
- 04-7 がん悪液質患者に対する介入の症例報告における文献的調査
大阪公立大学 大学院医学研究科 後藤 淳

第2会場 (共通講義棟A1階共A11)

パネルディスカッション1

16:30~18:00

テーマ：がんリハビリテーションにおける多職種連携①
(臓器別がん手術療法とリハビリの役割)

座長：吉田 雅博 愛知県がんセンターリハビリテーション科・整形外科
鶴川 俊洋 鹿児島市立病院リハビリテーション科

- PD1-1 呼吸器外科領域の悪性疾患の手術および周術期について
一般財団法人永頼会松山市民病院呼吸器外科 魚本 昌志
- PD1-2 食道がんの周術期リハビリテーションにおける多職種連携
国立病院機構岡山医療センター外科 野崎 功雄
- PD1-3 がん周術期リハビリテーションの現状と課題 理学療法士の立場から
静岡県立静岡がんセンターリハビリテーション室 岡山 太郎
- PD1-4 がんリハビリテーションにおける多職種連携
(頭頸部がん手術療法とリハビリテーションの役割)
国立病院機構四国がんセンター頭頸科・甲状腺腫瘍科 門田 伸也
- PD1-5 言語聴覚士が行う頭頸部がん領域の周術期リハビリテーションについて
慶應大学病院リハビリテーション科 安藤 牧子

第3会場 (共通講義棟A2階多目的レクチャー室1共A24)

一般演題5 造血器腫瘍①

12:40~13:40

座長：木口 大輔 愛媛県立中央病院リハビリテーション部

- 05-1 寛解導入療法中の急性リンパ性白血病患者に対するリハビリテーション経験
和歌山県立医科大学附属病院 リハビリテーション部 水谷 優斗
- 05-2 人工距骨置換術を施行した高齢多発性骨髄腫の一例の理学療法経過
神奈川県立がんセンターリハビリテーション技術科 荒山 洋平
- 05-3 同種造血幹細胞移植後の歩行障害と改善因子の検討
大阪国際がんセンター リハビリテーション科 鈴木 昌幸
- 05-4 リハビリテーション栄養でADL改善を目指した同種造血幹細胞移植後消化管GVHDの2例
国立がん研究センター中央病院 リハビリテーション室 横田 翔太
- 05-5 高次脳機能障害を伴うびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫患者への介入を通して経験した
運転支援の重要性
山口県立病院機構山口県立総合医療センターリハビリテーション部 義永 眞利
- 05-6 合併症リスクが高い同種造血幹細胞移植患者において、継続したりハビリ介入が運動耐容能
向上に寄与した症例
浜松医科大学医学部附属病院リハビリテーション部 菅沼 伊織
- 05-7 CAR-T療法後にパーキンソニズムを呈した難治性多発性骨髄腫の一例
金沢大学附属病院リハビリテーション部 吉田 信也

一般演題6 造血器腫瘍②, 薬物療法

13:40~14:40

座長：田仲 勝一 香川大学医学部附属病院医療技術部リハビリテーション部門

- 06-1 造血器腫瘍に対する化学療法中に重症COVID-19肺炎を呈し長期人工呼吸管理を要した1例
国立がん研究センター中央病院リハビリテーション室 阿部 里沙
- 06-2 移植前処置から造血幹細胞移植中の骨髄異形成症候群患者に対する自転車エルゴメーター
およびステップ運動の効果
和歌山県立医科大学附属病院リハビリテーション部 川西 誠
- 06-3 長期人工呼吸管理を要した呼吸不全に対し学際的介入を試みた慢性骨髄性白血病の一例
北里大学病院リハビリテーション部 野崎 康平
- 06-4 知的障害を有する混合表現型急性白血病患者に対して多職種で介入しながら臍帯血移植を
施行し、自宅退院となった一症例
青森県立中央病院リハビリテーション科 永山 香織
- 06-5 肥満を有する骨髄異形成症候群患者に対して外来にて運動療法と運動指導を実施し、同種
造血幹細胞移植後のリスク予防の一助となった症例
浜松医科大学医学部附属病院リハビリテーション部 武田 夏季
- 06-6 化学療法後のしびれ、疼痛による活動性低下に対し、疼痛コントロールと併せて道具の工夫
や作業活動の導入を行うことでADLが改善した一症例
鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部 田村 理恵
- 06-7 化学療法後に生じた末梢神経障害に対して足関節サポーターを使用した症例
鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部 足川 めぐみ

第3会場 (共通講義棟A2階多目的レクチャー室1共A24)

一般演題7 チーム連携, 退院時支援, 在宅リハ

14:50~15:50

座長：小林 毅 日本医療科学大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻

- 07-1 がんリハビリテーションにおける療法士の役割
～客観的な能力評価により自宅退院が可能となった一例を経験して～
独立行政法人国立病院機構豊橋医療センター 川島 一輝
- 07-2 院内電子カルテメールシステムを活用したがん患者運動器疾患対応の実態とその有用性
埼玉県立がんセンター リハビリテーション科 小柳 広高
- 07-3 がん患者の退院支援における週末リハビリへの取り組み
独立行政法人国立病院機構四国がんセンター 村上 利奈
- 07-4 多職種連携による疼痛のコントロール介入が早期退院に寄与した多発性骨髄腫の1症例
南河内おか病院 大道 彩
- 07-5 主たる介護者が若者ケアラーであったがん患者の退院支援の経験(2例)
国立がん研究センター中央病院リハビリテーション室 櫻井 卓郎
- 07-6 訪問・通所リハビリテーションに従事する作業療法士によるがん患者への関わりと課題
～webアンケートによる実態調査～
関西医科大学リハビリテーション学部 三木 恵美
- 07-7 在宅での終末期肺癌症例の経験
医療法人循和会朝霞中央クリニック訪問リハビリテーション 梅澤 達也

一般演題8 ADL, QOL

15:50~16:35

座長：井上 順一郎 神戸大学医学部附属病院国際がん医療・研究センター リハビリテーション部門

- 08-1 がん患者のルックスケアにおける作業療法の現状に関する調査第1報
香川県立丸亀病院社会復帰推進部作業療法室 池知 良昭
- 08-2 がん患者の健康関連QOLと生活満足度の関連について
名古屋女子大学医療科学部作業療学科 山鹿 隆義
- 08-3 成人がん患者の生活満足度はWell-beingと関連しているか？
信州大学医学部附属病院リハビリテーション部 古橋 啓介
- 08-4 当院におけるADLが悪化して退院した回復的がんリハビリテーションを行った患者の特徴
松阪中央総合病院 松尾 宏
- 08-5 非小細胞肺癌患者に対する肺切除術後1ヶ月の健康関連QoL (Physical Function) の関連要因
日本赤十字社長崎原爆病院リハビリテーション科部 松崎 敏朗

第3会場 (共通講義棟A2階多目的レクチャー室1共A24)

一般演題9 肺がん, 頭頸部がん, 脳腫瘍

16:45~17:55

座長：濱田 麻紀子 国立病院機構愛媛医療センターリハビリテーション科

- 09-1 肺がんに対する肺切除患者の術前サルコペニアが術後の歩行自立に及ぼす影響：後ろ向き
ケースコントロール研究
弘前総合医療センターリハビリテーション科 佐藤 泰登
- 09-2 当院呼吸器内科入院中の肺癌患者に対するリハビリテーション介入状況の変化についての
後方視的調査
国立病院機構北海道がんセンターリハビリテーション科 明庭 圭吾
- 09-3 頭頸部癌に対しての化学放射線療法中の骨髄抑制の嚥下機能および、嚥下筋減少への影響
大阪大学医学部附属病院摂食嚥下センター 橋田 直
- 09-4 甲状腺癌周術期リハビリテーションにおける言語聴覚療法
神奈川県立がんセンターリハビリテーション技術科 須藤 奈津子
- 09-5 局所進行頭頸部がん患者における化学放射線療法中・後の身体活動量
信州大学医学部附属病院リハビリテーション部 松森 圭司
- 09-6 日本語非母語話者に対する覚醒下手術介入の一例
国立がん研究センター中央病院リハビリテーション室 辻 知恵子
- 09-7 脳腫瘍患者の転帰によるADLの差に関する解析
近畿大学病院リハビリテーション部 橋本 翔太
- 09-8 相貌失認を呈した進行肺がん患者の作業療法を経験して
神奈川県立がんセンターリハビリテーション技術科 結城 士

プログラム 2 日目 (2025年3月23日)

第1会場 (グリーンホール)

シンポジウム

9:00~10:30

テーマ：がんリハビリテーションと在宅診療における多職種連携

座長：松瀬 博夫 久留米大学リハビリテーション部
三木 恵美 関西医科大学リハビリテーション学部

- S-1 がんリハビリテーションの退院支援と連携
静岡県立静岡がんセンターリハビリテーション室 望月 裕太
- S-2 在宅がんリハビリテーションで求められる多職種連携とその課題（作業療法士の立場から）
大阪府済生会富田林病院リハビリテーション科 島崎 寛将
- S-3 終末期がん患者に対するリハビリテーションの介入およびその効果について
訪問看護ステーションあかりば 浅野 真有
- S-4 がんリハビリテーションと在宅診療における多職種連携
～リハビリテーション科医師の立場から～
大井中央病院 大森 まいこ
- S-5 在宅でのがん末期患者に対するリハビリテーションの有効性
～医療ソーシャルワーカーの立場から～
医療法人ゆうの森たんぼぼクリニック在宅療養なんでも相談室 松重 明

教育講演3

10:40~11:40

座長：杉原 進介 国立病院機構四国がんセンター骨軟部腫瘍整形外科・リハビリテーション科

- EL-3 コペルニクスな呼吸生理
計算呼吸器学研究所 北岡 裕子

ミニレクチャー2

11:50~12:20

座長：阿部 恭子 東京医療保健大学千葉看護学部臨床看護学

- ML-2 多職種で取り組む上部消化器癌の集学的治療 ～栄養筋力維持と骨ケア～
香川県立中央病院消化器・一般外科 田中 則光

教育講演4

13:50~14:50

座長：千田 益生 かがわ総合リハビリテーション病院

- EL-4 義肢装具
高松義肢製作所松山支店 東原 孝典

優秀演題

15:10~15:40

座長：幸田 剣 和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座

- EP-1 放射線誘発性脳機能障害に対する脳由来神経栄養因子と海馬神経新生に着目した身体活動の効果
弘前大学医学部附属病院 リハビリテーション部 三浦 裕幸
- EP-2 単一診療科における高齢がん患者の嚥下機能評価の取り組み
国立病院機構九州がんセンターリハビリテーション科 飛永 宗治
- EP-3 訪問看護が介入している在宅療養患者のADL変化の前向きモニタリングの解析
埼玉医科大学病院リハビリテーション科 新野 捺美

第2会場 (共通講義棟A1階共A11)

パネルディスカッション2

9:00～10:30

テーマ：がんリハビリテーションにおける多職種連携②

(がん診療科が進行期がんにおいてリハビリに期待すること)

座長：宮越 浩一 亀田総合病院リハビリテーション科
古澤 義人 東北大学大学院医学系研究科肢体不自由学分野

- PD2-1 なぜ、私はリハビリテーションを依頼するのか
-肺がん患者に対するリハビリテーションへの期待-
国立病院機構四国がんセンター呼吸器内科 加藤 有加
- PD2-2 肝細胞癌患者におけるサルコペニア栄養・運動療法と全身薬物療法
愛媛県立中央病院消化器内科 平岡 淳
- PD2-3 血液がんのリハビリテーションにおける多職種連携
国立病院機構四国がんセンター血液腫瘍内科 吉田 功
- PD2-4 進行がん患者の生きるを支えるがんリハビリテーション治療
国立がん研究センター東病院リハビリテーション科 上野 順也
- PD2-5 癌のリハビリテーションにおける多職種連携～栄養士の立場から当院の現状を踏まえて
愛媛大学医学部附属病院栄養部 永井 祥子

パネルディスカッション3

10:40～12:10

テーマ：リンパ浮腫診療の実際（施設の特徴を踏まえた取り組み）

座長：高倉 保幸 埼玉医科大学保健医療学部
村岡 香織 国立病院機構埼玉病院リハビリテーション科

- PD3-1 当院におけるリンパ浮腫診療の現状と課題
静岡県立静岡がんセンターリハビリテーション室 田尻 寿子
- PD3-2 当施設のリンパ浮腫治療の実際と多施設連携
北福島医療センターリハビリテーション科 神保 和美
- PD3-3 民間病院と大学病院の連携による先端リンパ浮腫治療センターの取り組み
社会医療法人光生病院先端リンパ浮腫治療センター 三宅 一正
- PD3-4 リンパ浮腫診療における学際的治療
順天堂大学保健医療学部理学療法学科 石川 愛子
- PD3-5 四国がんセンターのリンパ浮腫治療の現状と課題
国立病院機構四国がんセンター看護部 浅野 尚美

ランチョンセミナー1 (コロプラスト株式会社共催)

12:40～13:40

座長：門田 伸也 国立病院機構四国がんセンター頭頸科・甲状腺腫瘍科

- LS1-1 喉頭全摘後のリハビリテーションに多職種連携は欠かせない
～声と匂いと下気道保護（総論）～
日本歯科大学新潟生命歯学部耳鼻咽喉科学 佐藤 雄一郎
- LS1-2 喉頭全摘後のリハビリテーションに多職種連携は欠かせない
～声と匂いと下気道保護（実践）～
神戸大学医学部附属病院リハビリテーション部 岩城 忍

第2会場 (共通講義棟A1階共A11)

一般演題 1 1 骨軟部腫瘍, 後腹膜腫瘍

14:00~14:45

座長：木谷 彰岐 愛媛大学大学院医学系研究科整形外科学

- O11-1 末梢神経障害を呈した上腕悪性軟部腫瘍患者に対する作業療法
信州大学医学部附属病院リハビリテーション部 平野 滉
- O11-2 下肢切断術予定患者へのプレハビリテーション介入の経験
国立がん研究センター中央病院 リハビリテーション室 渡辺 典子
- O11-3 右手滑膜肉腫術後の手指機能及び生活の再獲得に向けた作業療法報告
順天堂大学医学部附属順天堂医院リハビリテーション室 大八木 陽女
- O11-4 骨盤内腫瘍摘出術後の左大腿神経麻痺によりがん口コモを呈した症例に対するリハビリテーション介入経験
香川大学医学部附属病院医療技術部リハビリテーション部門 田仲 勝一
- O11-5 巨大後腹膜肉腫摘除術により歩行障害を呈した一症例
松山赤十字病院 リハビリテーション科 白石 美香

第3会場 (共通講義棟A2階多目的レクチャー室1共A24)

一般演題10 骨転移

9:00~10:00

座長：佐浦 隆一

大阪医科薬科大学医学部総合医学講座リハビリテーション医学教室

- O10-1 骨転移ボードにて検討した脊椎転移のあるがん患者のリハ介入によるADL変化
信州大学医学部附属病院リハビリテーション部 関 みなみ
- O10-2 子育て期の乳がん多発骨転移患者における理学療法士の役割
浜松医療センターリハビリテーション技術科 宮澤 佑治
- O10-3 下肢転移性骨腫瘍に対する外科的治療後に改善する日常生活動作の探索
国立がん研究センター中央病院リハビリテーション室 沖田 祐介
- O10-4 多発骨転移のため長期的な安静度制限を有し、大腿骨骨転移に対する大腿骨髄内釘固定術施行後に復職を果たした乳癌多発転移症例
名古屋大学医学部附属病院リハビリテーション部 中川 莉子
- O10-5 転移性骨腫瘍患者の術後予後因子と介入的治療の意義の検討
国立がん研究センター中央病院骨軟部腫瘍科 近藤 宏也
- O10-6 PCA(Patient-controlled analgesia)を用いた疼痛管理により早期歩行開始に至った高齢腫瘍用人工骨頭置換術後の一症例
医療法人鉄蕉会亀田総合病院リハビリテーション室 水野 祐基
- O10-7 乳がん多発骨転移患者に対し、骨関連事象に留意し自宅退院を目指した一症例
洛和会音羽病院 リハビリテーション部 種村 美南

ミニレクチャー1

10:10~10:40

座長：杉浦 英志

名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻

- ML-1 市中病院における骨転移患者に対するマネジメント
～リハビリテーションを介しての取り組み～
パナソニック健康保険組合松下記念病院整形外科 村田 博昭

パネルディスカッション4

10:50~12:20

テーマ：骨転移診療における多職種連携、多診療科連携（SREリスクの管理について）

座長：酒井 良忠

神戸大学大学院医学研究科リハビリテーション機能回復学

中田 英二

岡山大学運動器先端リハビリテーション医学講座

- PD4-1 がんのリハビリテーションにおける骨転移リスク管理(多職種連携の観点から)
神戸大学大学院医学研究科リハビリテーション機能回復学 鹿島 遼河
- PD4-2 骨転移患者との向き合い方：リハビリテーション科医の視点から
岡山大学病院総合リハビリテーション部 堅山 佳美
- PD4-3 SREリスク管理と有害事象の検討
埼玉医科大学国際医療センターリハビリテーション部 木山 こなつ
- PD4-4 骨転移チームにより包括的な治療介入できた事例
パナソニック健康保険組合松下記念病院リハビリテーション療法室 奥平 由香
- PD4-5 四国がんセンターにおける骨転移の診療体制とリハビリテーション
国立病院機構四国がんセンターリハビリテーション科 菊内 祐人

第3会場 (共通講義棟A2階多目的レクチャー室1共A24)

ランチョンセミナー2 (株式会社テクノ高槻)

12:40~13:40

座長：山下 昌宏 国立病院機構四国がんセンター形成外科

LS-2 機能的リンパ解剖学がもたらした科学的リンパ浮腫診療の夜明け

岡山大学むくみを科学する先進リンパ学講座

品岡 玲

一般演題12 乳がん, リンパ浮腫

14:00~15:00

座長：田尻 寿子 静岡県立静岡がんセンターリハビリテーション室

O12-1 乳がん術後3ヶ月の肩関節可動域挙上制限症例における影響因子の検討

北里大学病院リハビリテーション部

宮崎 道輝

O12-2 乳がん術後に神経障害性疼痛の疑いとなった患者に肋間上腕神経の神経滑走を試みた一経験

香川大学医学部附属病院医療技術部リハビリテーション部門

池田 彩乃

O12-3 当院での乳がん術後患者へ関わり

富山県立中央病院リハビリテーション科

船木 美樹子

O12-4 乳がん術後の早期機能回復に与える影響因子について

労働者健康安全機構関東労災病院中央リハビリテーション部

金子 美鈴

O12-5 乳がん術後患者における術翌日からのリハビリテーション介入が肩関節機能に与える影響

医療法人社団石鎚会京都田辺中央病院リハビリテーション部

滝川 萌乃

O12-6 当院における乳腺外科開設準備と開設後6か月の振り返り

社会医療法人近森会近森病院リハビリテーション部理学療法科

山村 猛瑠

O12-7 重症下肢リンパ浮腫に対し外来理学療法が効果的であった一症例

医療法人豊田会刈谷豊田総合病院診療技術部リハビリテーション科

高津 志歩